



Title	菅家正瑞教授略歴・著作目録
Author(s)	
Citation	経営と経済, vol.90(1・2), pp.305-311; 2010
Issue Date	2010-09-24
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10069/24900">http://hdl.handle.net/10069/24900</a>
Right	

This document is downloaded at: 2019-02-17T04:22:27Z

経営と経済 第90巻 第1・2号 抜刷

2010年 9月 24日 発行

長崎大学 経済学会

## 菅家正瑞教授 略歴・著作目録

## 菅家正瑞教授 略歴・著作目録

## 1. 略 歴

昭和19年11月10日 福島県に生まれる

## (1) 学 歴

昭和42年3月 福島大学経済学部経済学科卒業  
 昭和44年4月 福島大学経済学部経済学専攻科入学  
 昭和45年4月 高等学校「商業」教員免許（福島県教育委員会（昭45高二普第13号））  
 昭和46年3月 福島大学経済学部経済学専攻科修了  
 昭和48年3月 一橋大学大学院商学研究科修士課程修了 商学修士（一橋大学，第619号）  
 平成6年12月 博士（経済学）（東北大学，経第49号）

## (2) 職 歴

昭和42年4月 株式会社東邦銀行書記（昭和43年12月まで）  
 昭和44年1月 無職（昭和44年3月まで）  
 昭和48年4月 長崎大学経済学部助手（昭和49年11月まで）  
 昭和49年12月 長崎大学経済学部講師（経営管理論，昭和53年3月まで）  
 昭和53年4月 長崎大学経済学部助教授（経営管理論，昭和63年12月まで）  
 昭和53年9月 文部省内地研究員（一橋大学商学部矢島研究室，昭和54年2月まで）  
 昭和64年1月 長崎大学経済学部教授（経営管理論，平成22年3月まで）  
 平成4年2月 文部省在外研究員（オーストリア・リンツ大学，ハンガリー・ブダペスト経済大学，チェコスロバキア・プラハ経済大学）（平成4年12月まで）  
 平成6年8月 教員組織審査（長崎大学大学院経済学研究科経済経営政策専攻教授 企業管理特講，演習（ワークショップ），演習（個別研究））  
 平成7年7月 長崎大学評議員（平成17年3月まで）  
 平成9年7月 長崎大学経済学部長（平成15年6月まで）  
 平成9年7月 長崎大学大学院経済学研究科長（平成15年6月まで）  
 平成15年8月 教員組織審査（長崎大学大学院経済学研究科トップマネジメント論専攻教授 企業管理論特論，トップマネジメント特論，研究指導）  
 平成22年3月 長崎大学定年退職  
 平成22年4月 長崎大学名誉教授

## (3) 学会及び社会における活動等

昭和48年 9月	日本経営学会会員（現在に至る）
平成 5年 5月	経営学史学会会員（現在に至る）
平成11年11月	九州経済学会会員（平成21年12月まで）
平成 9年 7月	アジア経済研究所評議員（平成11年 6月まで）
平成 9年 7月	長崎県地方職業安定審議会会長（平成12年12月まで）
平成 9年 7月	長崎県地域雇用開発協議会会長（平成12年12月まで）
平成 9年 7月	長崎大学経済学会会長（平成15年 6月まで）
平成 9年 7月	長崎大学東南アジア研究助成会理事（平成15年 6月まで）
平成10年10月	長崎県長期構想検討委員会委員（平成11年 3月まで）
平成11年 4月	長崎県長期構想検討委員会会長（平成12年 8月まで）
平成12年 4月	長崎労働局長崎雇用安定・創出対策協議会会長（平成13年 3月まで）
平成12年11月	長崎県職業能力開発審議会委員（現在に至る）
平成13年 1月	長崎労働局地方職業安定審議会会長（平成13年 6月まで）
平成13年10月	長崎労働局長崎地方労働審議会会長（平成19年 6月まで）
平成14年 4月	長崎マレーシア協会理事（平成15年 6月まで）
平成14年 8月	長崎市教育委員会長崎市立片淵中学校跡地活用検討協議会会長（平成15年 3月まで）
平成17年12月	九州経済学会理事（平成21年12月まで）
平成18年 4月	保護監察司選定委員会委員（平成18年 8月まで）
平成18年 5月	長崎大学経済学部企業メセナ研究会会長（平成22年 3月まで）
平成18年 8月	長崎保護司選考会委員（現在に至る）
平成19年 2月	長崎市政治倫理審査会委員（現在に至る）

## (4) 表彰

平成19年11月27日 厚生労働大臣表彰

## 2. 著作目録

## (1) 著書

1. 『法と企業経営』（共著），税務経理協会，昭和56年 3月。
2. 『企業政策論の展開』（単著），千倉書房，昭和63年 5月。
3. 『企業管理論の構造』（博士論文，単著），千倉書房，平成 3年12月。

4. 『現代企業の経営学』(共著), 八千代出版, 平成7年3月。
5. 『環境管理の成立』(単著), 千倉書房, 平成18年10月。
6. 『企業メセナの理論と実践』(監修, 編共著), 水曜社, 平成22年3月。

## (2) 論文

1. 「事業部制の基礎としての利潤概念 - ディーンの所論を中心として - 」(福島大学専攻科修士論文), 昭和46年1月。
2. 「経営管理の手段としての会計制度に関する一考察」(一橋大学修士論文), 昭和48年1月。
3. 「計画原価計算と経営管理 - コジオールの所論を中心として - 」, 『経営と経済』(長崎大学経済学部研究会)第53巻第3号, 昭和48年12月。
4. 「价格的経営管理とその管理機構 - ベンダーの所論を中心として - 」, 『経営と経済』第54巻第2号, 昭和49年9月。
5. 「企業の目標体系の構造について - ハイネンの所論を拠り所として - 」, 『経営と経済』第55巻第2・3号, 昭和50年10月。
6. 「企業目標と企業組織について - ハイネンの所論を中心として - 」, 『経営と経済』第55巻第4号, 昭和51年3月。
7. 「企業における資本運用に関する一考察 - ハイネンの所論を手がかりとして - 」, 『経営と経済』第57巻第1号, 昭和52年7月。
8. 「企業の社会的責任と経営管理に関する一試論」, 『経営と経済』第57巻第2号, 昭和52年12月。
9. 「メレロヴィッツの社会志向的企業管理論 - 市場経済体制と企業管理 - (上)」, 『経営と経済』第59巻第1号, 昭和54年7月。
10. 「メレロヴィッツの社会志向的企業管理論 - 市場経済体制と企業管理 - (下)」, 『経営と経済』第59巻第2号, 昭和54年9月。
11. 「管理意思決定の理論としての経営経済政策論 - ザンディッヒの所論を中心として - 」, 『経営と経済』第61巻第1号, 昭和56年6月。
12. 「フィッシャーの経営政策論(上)」, 『経営と経済』第61巻第4号, 昭和57年3月。
13. 「フィッシャーの経営政策論(下)」, 『経営と経済』第62巻第1号, 昭和57年6月。
14. 「処理学としての経営政策論 - メレロヴィッツの所論を中心として - (上)」, 『経営と経済』第63巻第2号, 昭和58年9月。
15. 「処理学としての経営政策論 - メレロヴィッツの所論を中心として - (下)」, 『経営と経済』第63巻第4号, 昭和59年3月。

16. 「ウルリッヒの企業政策論」, 『経営と経済』(長崎大学経済学会)第65巻第2・3号, 昭和60年10月。
17. 「最高管理意思決定論としての企業政策論」, 『経営と経済』第66巻第3号, 昭和61年12月。
18. 「企業管理の構造 - ウルリッヒの所論を中心として - 」, 『長崎大学経済学部研究年報』第7巻, 平成3年3月。
19. 「企業の社会的責任と企業体制」, 『経営と経済』第73巻第2号, 平成5年9月。
20. 「企業とその環境」, 『長崎大学経済学部研究年報』第10巻, 平成6年5月。
21. 「環境管理の成立」, 『経営と経済』第77巻第3号, 平成9年12月。
22. 「企業環境と企業行動 - シュテーターの所論を中心として - 」, 『経営と経済』第80巻第3号, 平成12年12月。
23. 「企業管理と環境目標」, 『経営と経済』第81巻第3号, 平成13年12月。
24. 「環境管理と企業体制」, 『経営と経済』第83巻第2号, 平成15年9月。
25. 「環境管理と環境戦略」, 『経営と経済』第83巻第3号, 平成15年12月。
26. 「環境管理と『環境志向の生産管理論』」, 『経営と経済』第84巻第2号, 平成16年9月。
27. 「『環境管理』としての『企業管理』」, 『経営と経済』第84巻第3号, 平成16年12月。
28. 「環境管理と市民化管理」, 『経営と経済』第85巻第1・2号, 平成17年9月。
29. 「環境管理と企業の生活能力」, 『経営と経済』第85巻第3・4号, 平成18年2月。
30. 「企業の国際化と国際的環境管理」, 『東南アジア研究年報』第47集, 平成18年3月。
31. 「企業の環境適応と生活能力」, 『長崎大学経済学部研究年報』第22巻, 平成18年3月。
32. 「企業の維持とその生活能力」, 『経営と経済』第86巻第1号, 平成18年6月。
33. 「ベンダーの意思決定論」, 『経営と経済』第88巻第1号, 平成20年6月。
34. 「市民化管理と企業メセナ」, 『経営と経済』第88巻第2号, 平成20年9月。
35. 「企業は芸術とどのような関係にあるのか」, 『経営と経済』第88巻第3号, 平成20年12月。
36. 「企業の社会的責任と芸術」, 『経営と経済』第88巻第4号, 平成21年3月。

37. 「企業はなぜ芸術を求めるのか?」, 『経営と経済』第89巻第1号, 平成21年6月。
38. 「企業はなぜメセナをするのか?」, 『経営と経済』第89巻第2号, 平成21年9月。
39. 「企業メセナの将来」, 『経営と経済』第89巻第3号, 平成21年12月。
40. 「企業フィランソピーと企業メセナ」, 『経営と経済』第89巻第4号, 平成22年3月。
- (41. 「経営学の方法論に関する一考察 - ハイネン=ディーテルの所論を中心として - 」, 昭和55年, 未刊。)

### (3) 資料

1. 「『企業メセナ』と『アブレウ博士』」(共著), 『経営と経済』第86巻第2号, 平成18年9月。
2. 「実験的メセナの実施報告」, 『経営と経済』第86巻第3号, 平成18年12月。
3. 「実験的企業メセナの実施報告 その2」, 『経営と経済』第87巻第3号, 平成19年12月。
4. 「実験的メセナの実施報告 その3」, 『経営と経済』第88巻第4号, 平成21年3月。
5. 「実験的メセナの実施報告 その4 および全体の総括」, 『経営と経済』第89巻第4号, 平成22年3月。

### (4) 報告書

1. 『長崎県地域経済振興シンポジウム記録集』(共著), 長崎県地域振興シンポジウム実行委員会, 平成6年3月。
2. 『大学における授業の改善に関する基礎的・実証的研究』(共著), 長崎大学, 平成9年3月。
3. 「タイにおける経済協力評価」(共著), 外務省経済協力局『第15回経済協力評価報告書』, 平成9年6月。

### (5) 教科書, 教材

1. 『現代企業の経営学』(共著), 八千代出版, 平成7年3月(前出)。
2. 平成3年度長崎大学経済学部社会人講師団『長崎から21世紀への提言 - 21世紀を展望した90年代の企業経営 - 』(監修), 長崎出版文化協会, 平成4年2月。
3. 経営学史学会編『経営学史辞書』, 文眞堂, 平成14年6月。

## (6) その他

1. 大学教育についての紙上座談会「21世紀の大学教育Vol.1, 2」, 『朝日新聞』(西部本社版), 平成9年8月, 9月。
2. インタビュー「長崎大学経済学部の教育改革 - 学科制からコース制へ - 」, 『ながさき経済』(長崎経済研究所編), 平成9年11月。
3. 紙上座談会「長崎県の未来を語る」, 『長崎新聞』など, 平成11年1月。
4. 大学教育についての紙上座談会「事業の革新と人材」, 『朝日新聞』(西部本社版), 平成11年11月。

## 3. 社会活動等

## (1) シンポジウム

1. 平成6年度長崎県大学ガイダンスセミナー「社会・大学・高校から望まれる学生」(大学側パネリスト), 平成6年10月。
2. 平成7年度長崎県大学ガイダンスセミナー「大学の教育内容について」(大学側パネリスト), 平成7年10月。
3. 第4回よみうり・西部フォーラム長崎会議「アジアに生きる長崎 - 21世紀の指針を探る」(座長), 読売新聞西部本社, 平成9年12月。
4. 平成11年度長崎県大学ガイダンスセミナー「新しい時代における大学教育」(大学側パネリスト), 平成11年10月。

## (2) 公開講座, 市民講座

1. 長崎大学公開講座『現代経営 - 国際化・情報化・高齢化社会と企業 - 』, 「経営組織」, 昭和61年9月~12月。
2. 長崎大学公開講座『現代経営 - 産業構造の変化と企業経営 - 』, 「管理組織」, 昭和62年9月~12月。
3. 長崎大学『高校生のための公開講座』, 「経営管理とは何だろう」, 平成16年8月。
4. 長崎市北公民館『茶の間の経済学』, 「企業メセナとは何だろう」, 平成16年10月。
5. 長崎市北公民館『茶の間の経済学』, 「経営学の生誕」, 平成17年10月。
6. 長崎大学『高校生のための公開講座』, 「経営学とは何だろう」, 平成17年8月。



7. 長崎大学出前講義「21世紀は自分たちが作る」、猶興館高校（平戸市）、平成17年5月。
8. 長崎大学出前講義「大学における授業とは何か」、熊本県立八代高等学校、平成18年10月。
9. 長崎大学出前講義「大学で何を学ぶのか」、熊本県立松橋高等学校、平成18年12月。
10. 長崎市北公民館『茶の間の経済学』、「市民化管理の成立」、平成19年10月。

### (3) 企業メセナの実験的实施

1. 「長崎大学経済学部企業メセナ研究会」設立。研究者による研究報告と民間企業によるメセナ実践報告、報告者の所属団体：長崎大学；熊本大学；熊本保健科学大学；トヨタ自動車；野村證券；サントリー；出光興産；アサヒビール；九州電力；KAJIMOTO；三菱UFJリサーチ&コンサルティング；日本経済新聞社、平成18年5月～22年3月。
2. 『大好きな長崎へ音楽のプレゼント』、黒崎東小学校；長崎大学医学部・歯学部付属病院；長崎県美術館；旧香港上海銀行長崎支店跡記念館、平成18年9月8日～10日。
3. 『大好きな長崎へ音楽のプレゼント第2弾 - ピアノ・トリオコンサート - 』、長崎大学付属病院；福田小学校；長崎県美術館；旧香港上海銀行長崎支店跡記念館；長崎大学中部講堂、平成19年10月2日～5日。
4. 『大好きな長崎へ音楽のプレゼント第3弾 - フランスのエスプリをあなたに - 』、みのり園；長崎県美術館；時津北小学校；長崎大学付属病院；チトセピア・ホール、平成20年11月5日～7日。
5. 『大好きな長崎へ音楽のプレゼント - 大室晃子ドイツ3大Bを弾く - 』、長崎大学付属病院；伊王島・高島小中学校；長崎県美術館；長崎県盲学校；旧香港上海銀行長崎支店跡記念館；ブリック・ホール、平成21年10月27日～12月19日。